

2013

2

vol.448

いまかね

今金町農業協同組合



2/1

～夢工房手作りの味～

Aコープ風除室にて加工品販売

道南地区青年部協議会リーダー研修会開催

1月16日、北斗市農業振興センターにて道南地区青年部協議会主催によるリーダー研修会が開催され、道南各地の青年・女性部員合わせて36名が参加しました。今回の研修では「一次産業を、かっこよくて・感動があつて・稼げる3K産業に。」をテーマに株式会社「みやじ豚」社長であります宮治勇輔さんを招き、講演を行いました。宮地さんは湘南地域で弟と共に養豚業を営み、独自のマーケティングにより自ら生産した豚肉を神奈川県トップブランドに押し上げ、また特定非営利活動法人「農家のこせがれネットワーク」の設立や、湘南地域の活性化を目的とする「NPO法人湘南スタイル」に農業プロデューサーとして運営に参画するなど、農業を通じて様々な取り組みを行っています。そんな宮治さんのお話は出席者の関心も高く、研修会終了後には多くの質問が挙げられていました。



アスパラ生産組合視察研修開催



1月18日、アスパラ生産組合による道内視察研修が開催されました。今回は生産組合員4名が参加し、厚沢部町で取り組まれている伏せ込みアスパラ栽培を視察、伏せ込みアスパラの栽培方法や冬期でも出荷が可能なメリット、また伏せ込みならではの苦労話など、現地の生産者の方を交えて色々なお話を伺うことが出来ました。伏せ込み栽培では11月よりハウス内での定植作業が始まり12月頃から翌年3月頃迄の期間、アスパラの収穫が可能な栽培方法ですが、1度定植すると10年程は株の植え替え等の必要がない立茎栽培とは異なり、1年ごとに株を交換していかなければならず、今回の視察先の生産者の方は夏期間中に畑でアスパラ株を育て、冬期間に定植するといったサイクルで栽培を行っているそうです。視察中は終始参加者からの質問が絶えることなく、はじめて目にする伏せ込み栽培に参加したみなさんの関心の高さが伺えました。

夢工房 Aコープ即売会

2月1日、JAいまかね女性部 夢工房（代表 岸 幸子）がAコープ今金店で加工品の販売会を行い「大根のしば漬」「ピリ辛きゅうりの漬物」「いも団子」「べこもち」などの販売を致しました。この販売会は、もぎたて市販売の為に部員が作付した農産物を加工しており、地産地消を推進することを目的として毎年行われています。当日は多くのお客様にお買い求め頂き、地元住民と交流を深めながら大盛況で終わることができました。次回、3月1日（金）にもAコープ今金店で夢工房による加工品の販売会を行う予定ですので、皆さんいらして下さい。



新品種

平成24年試験結果

裂皮が少なく、線虫抵抗性の極大粒
 だいで新品種「ゆめのつる」(旧「中育60号」)

倒伏が少なく多収の晩生品種

品種名	成熟期 (月日)	倒伏 程度	主茎長 (cm)	子実重 (kg/10a)	子実重比 (%)	百粒重 (g)	品質
ゆめのつる	10/6	微	79	372	109	49.5	2中
ユウヅル	10/5	少	79	344	100	49.2	3中

注) 普及見込み地帯の道南地方における平成20~22年ののべ7カ所平均

裂皮が少なく、外観品質がよい



ゆめのつる

裂皮程度 微
 (裂皮発生はとても少ない)



ユウヅル

裂皮程度 多
 (年により3割以上に被害)

煮豆加工に適する

実需による製品試作試験結果

実需者	年産	総合評価	実需者	年産	総合評価
A社	H19	□	C社	H21	○
B社	H20	○	E社	"	□
C社	"	○	D社	"	□
D社	"	□	B社	"	□

□: ユウヅル同等 ○: 優れる

ダイズシストセンチュウに抵抗性

品種名	抵抗性
ゆめのつる	強(レース3抵抗性)
ユウヅル	弱
ツルムスメ	弱
トヨムスメ	強(レース3抵抗性)

平成23年の「ゆめのつる」現地実証試験結果(各10a 各農業改良普及センター)

試験場所	品種名	出芽 良否	成熟期 (月日)	倒伏 程度	成熟期における				子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	検査 等級	百粒重 (g)	裂皮粒 率 (%)	しわ程 度
					主茎長 (cm)	主茎節 数	分枝数 (/株)	最下着英 位置(cm)						
今金町	ゆめのつる	良	10/18	無	81	14.5	2.9	14.5	341	111	大粒3等	44.6	2.6	無
	ユウヅル	良	10/16	無	83	15.6	3.7	13.6	306	100	大粒3等	47.0	34.0	無
厚沢部町	ゆめのつる	良	10/12	無	80	14.0	2.8	15.0	372	106	3下	48.4	1.3	微
	トヨムスメ	良	10/1	無	67	11.0	4.1	15.5	350	100	3下 ~合格	37.0	3.9	中
北斗市	ゆめのつる	良	10/6	無	62	12.7	3.5	18.8	369	116	合格	39.7	0.4	無
	トヨムスメ	良	9/28	無	49	10.5	3.2	10.2	319	100	合格	33.3	0.9	無

線虫なんてへっちゃら！ 道南向き黒豆のニューフェイス



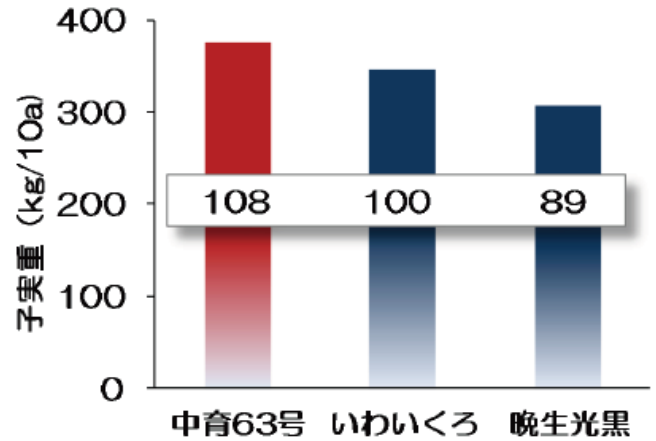
だいたず新品種「中育63号」

※「つぶらくろ」と命名

1 黒豆で初めてのセンチュウ抵抗性品種

品種名	ダイズシスト センチュウ抵抗性
中育63号	<u>強（レース3抵抗性）</u>
いわいくろ	弱
晩生光黒	弱

2 「いわいくろ」より多収



3 「いわいくろ」より大粒で煮豆加工に適する



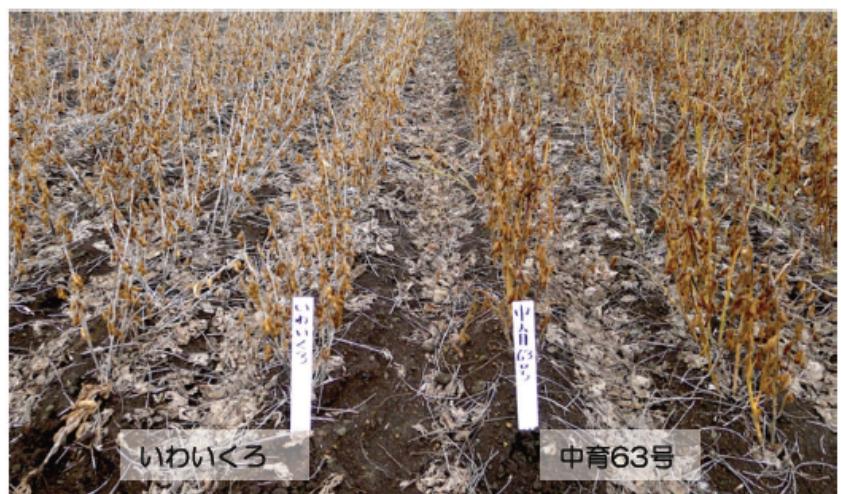
「中育63号」の煮豆試験結果

年産	実需者	評価
H21	A社	△
H22	B社	○
H22	C社	□
H23	D社	○

注) 「いわいくろ」と比較して、
○:やや優れる、□:同等、△:やや劣る

4 成熟期は「いわいくろ」より1~6日遅い

	成熟期
中育63号	10/ 4
いわいくろ	9/30
晩生光黒	10/ 8



栽培上の注意：連作および短期輪作を避けるとともに、トヨムスメなどレース3低抗性品種にシストが着生する圃場では、作付けを避ける。

春まき小麦「はるきらり」の地域適合性試験

1 試験方法

(1) 供試品種

品種名	早晩性	病害抵抗性			耐倒伏性	穂発芽性
		赤さび病	うどんこ病	赤かび病		
はるきらり	中生	やや強	強	中	中	やや難
春よ恋	中生	強	中	中	やや強	難

(2) 試験区分

窒素施肥量 (kg/10a)				備考
基肥	止葉期	開花期	合計	
8	0	3 (葉面)	11	葉面：尿素2%溶液×3回

(3) 耕種概要

土壌型	土性	排水良否	前作物	は種月日	うね幅 (cm)	は種量		堆肥施用量 (t/10a)
						粒/m ²	kg/10a	
洪積土	壤土	並	ばれいしょ	5/1	30	340	約15	0
種子千粒重			病虫害防除回数					
春よ恋		はるきらり	4回					
42.4 g		44.3 g	(除草剤1、殺菌剤3)					
施肥量 (kg/10a)							収穫	
基肥銘柄		窒素	リン酸	加里	追肥銘柄×回数	窒素	月日	
BB082 80kg		8.0	22.4	9.6	尿素2%×3	3.0	8/10	

2 結果の概要

(1) 生育経過

- ア 倒伏は発生しなかった。
- イ 目立った病虫害の発生はなかった。
- ウ 出穂期は「春よ恋」より2日早く、成熟期は3日早かった。
- エ 「春よ恋」より、稈長は長かったが、穂長は短かった。穂数は少なかった。

(2) 収量・品質

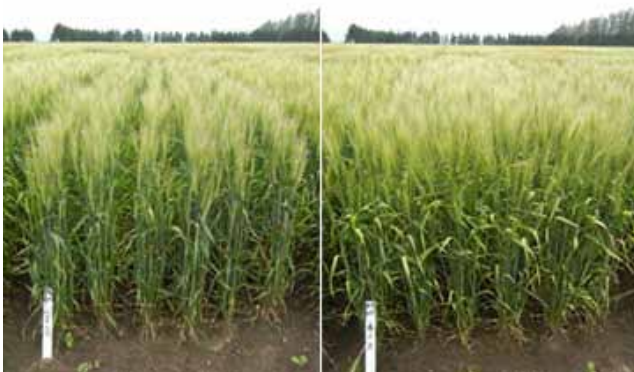
- ア ふるい後子実重は「はるきらり」が「春よ恋」に優った。
- イ 原粒蛋白は「春よ恋」が高くなったが、両品種とも基準値に入った。
- ウ 歩留まり、千粒重は「はるきらり」が優った

3 結果の考察

「はるきらり」は、穂数が「春よ恋」よりやや少なかったが、ふるい後子実重で優ったため、1穂粒数が「春よ恋」より多いと推測される。

4 まとめ (普及性)

「はるきらり」は、「春よ恋」より多収であることが確認できた。今後は、穂数、収量確保のため、は種量と追肥量の検討が必要である。



▲はるきらり

▲春よ恋

左の「はるきらり」のほうが、右の「春よ恋」に比べて雨風に当たっても倒れにくく、収量も同等か「はるきらり」のほうがやや多い

5 成果の具体的データ

表 1 生育概要

試験区	出芽 良否	出穂期 (月日)	出穂期の 葉色値	成熟期 (月日)	成熟期の生育量		
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)
春よ恋	良	6/23	43.0	8/7	79.4	7.3	380
はるきらり	良	6/21	39.9	8/4	83.3	6.7	337

表 2 病害発生程度

試験区	赤さび病	うどんこ病	赤かび病	倒伏程度
春よ恋	無	無	無	無
はるきらり	無	無	無	無

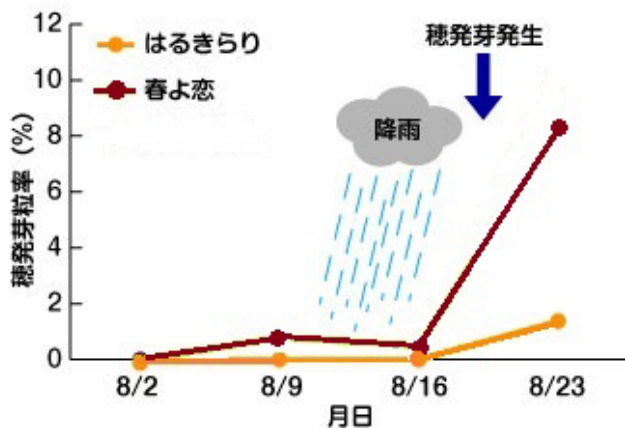
表 3 収量構成要素

試験区	子実重 (kg/10a)		標準 対比	歩留 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	原粒蛋白 (%)
	ふるい前	ふるい後					
春よ恋	284	263	100	92.7	-	45.6	13.6
はるきらり	334	324	123	96.8	-	47.0	12.2

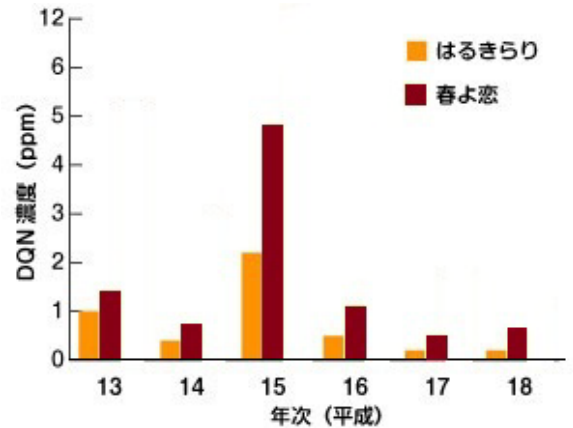
注) 子実重製品・千粒重は、2.4 mm篩い使用。水分 12.5%に補正済み

注) 原粒蛋白は、JAにて調査

注) パン・中華めん用 蛋白基準：11.5～14.0%



穂発芽発生程度の比較 (平成 17 年 中央農試)



赤かび病発生条件における かび毒 (DON) の汚染程度 (赤かび病防除回数を減らした条件、または無防除の条件)

大根品種比較試験

各作型において、晩抽性、内・外部品質、収量性等を現行品種と比較し、優良品種の選定を行った。◎～○の評価が高かった品種については、試験規模を拡大し導入を検討する。

	品種名	評価	摘要
春まき	A-1	◎	晩抽性高く、形状・品質も良好である。5月中旬～6月上旬作型に導入を検討する。
	春の砦	△	晩抽性が高い。
初夏まき	萌ひびき	×	生育・肥大遅く、抽台が見られた。
	夏風	○	高温期での肥大が良好である。6月下旬～7月上旬作型に限定して導入を検討する。抽台、リングに注意が必要である。
	MSR-939	×	形状が悪く、揃いが劣る。
夏まき	品種名	評価	摘要
	郷ひびき	△	根部肥大、形状が同等以上である。



▲試験品種 A-1

◎導入を検討する ○条件付きで導入を検討する △試験を継続する ×試験を打ち切る

NEXT GENERATION

新世紀の担い手たち

メップ地区 岸 徹也さん〔42歳〕



今金町を担う若者達を紹介するコーナー。第14回目はメップ地区の岸 徹也さんをご紹介します。

以前はスポーツ指導員として働いていた岸さんですが、昨年より今金町に戻り実家の農業を継ぐことになりました。

現在は農業に従事する一方で、スポーツ指導員としての経験を生かして町の健康作り事業にもインストラクターとして参加するなど地域にも貢献しています。

《プロフィール》

岸 徹也（きし てつや）42歳

北海道社会体育専門学校卒（就農1年目）

《経営作物》 大豆、小豆、馬鈴薯、黒牛

《家族構成》 岸 泉（父）、幸子（母）

《農業していて感じること》

昨年より経営を譲り受け農業を行っていますが、まだまだ分からないことも多く父親から指導を受ける毎日です。その一つ一つを日々確認し、吸収していない心がけてはいますがまだまだ把握しきれていません。1戸の農業経営者としての気持ち、心構えは自覚しているのですが、それに技術や経験を伴わせ、これから経営者として1人前になるためには今後またゆめ努力が必要だと感じています。自らが率先して考え、行動し、自らの力で生産や経営を行っていくような地区の方々やJA等にもアドバイスを頂きながら頑張っていきたいと思っておりますので、これからよろしくお願いします。

《趣味》旅行

《今後の夢》

農業についてはこれからも地道に努力を重ね、堅実に黒字経営を継続して行っていけるようにしていきたいです。また、生産者の方々が健康になり、ゆくゆくは今金町全体の生産性の向上等に繋がるようスポーツ指導員としてのノウハウや経験を生かしてお手伝いをしていければと考えています。

農作業事故について

大雪による施設等屋根の雪降ろし、除雪作業中の入院や死亡事故にいたる大きな事故が発生しています。『自分は大丈夫!』と過信せず、下記の事項に注意し、事故にあわないようにしましょう。

(1) 除排雪器具・作業機・暖房器具の点検の徹底

- 除排雪器具や作業機の不調は、除雪ができないだけでなく、事故を誘発することにもつながります。過酷な環境で連続使用していますので、除排雪器具、作業機、暖房器具の点検・整備を行いましょ！

(2) 除雪作業等に伴う事故防止

- 除雪作業はできるだけ2人以上で行いましょう
- ハシゴでの作業は命綱をつけて、ヘルメットを着用しましょう
- 暖気の際は、絶対に屋根に上がらないようにしましょう
また、落雪の危険があります。軒下に近寄らないようにしましょう
- 除雪機の雪詰まり取り除き作業は、必ずエンジンを停止しましょう
- 一日の作業計画（作業場所）を家族に伝えましょう



(3) 生産施設等の点検

- 暴風雪の状況に応じて、対策に万全を期すようにしましょう。とくに、ビニールハウス・D型ハウス・畜舎などは、点検や除雪作業をこまめに実施し、倒壊や破損を防止しましょう。
- 暴風雪で倒壊する恐れのある建物や施設は、可能な限り補強しておきましょう。

労災保険に加入しましょう

労災保険とは、労働者の負傷、疾病、傷害、死亡等に対して保険給付金を行う制度です。農業者の方は特定農作業従事者に特別加入することができます。

特定農作業従事者とは年間農業生産物総販売金額300万以上または経営耕作地面積2畝以上の規模で①土地の耕作・開墾 ②植物の栽培・採取 ③家畜の飼育 ④高所での作業を行う等自営農業者（労働者以外の家族専従者などを含む）であって、下記の①～⑤までのいずれかの作業に従事する方（地域営農集団等も含む）をいいます。

『万が一!!』に備えて加入しましょう



①動力により駆動される機械を使用する作業



②納屋（農業機械格納庫）等の農業施設等、高さが2メートル以上の箇所における作業



③サイロ、むろ等の酸素欠乏危険場所における作業



④農薬の散布の作業



⑤牛、馬、豚に接触し、又は接触すおそれのある作業

※詳しいお問い合わせは、管理課（82-0211）まで

役員推薦委員の変更について

第2ブロックにおいて委員の変更がありましたのでお知らせします。
変更前委員 須藤 光政さん → 変更後委員 芳賀 芳見さん

J Aからの
お知らせ